

2011 年 7 月 22 日

アメリカ合衆国大統領

バラク・フセイン・オバマ・ジュニア 閣下

生活協同組合ひろしま

理事長 林 辰也



臨界前核実験の実施に嚴重に抗議する

貴国が、昨年 12 月と今年 2 月に臨界前核実験をおこなったことに嚴重に抗議するとともに、今後すべての実験の中止を強く求めます。

「核なき世界を目指す」と演説されたオバマ大統領が、引き続き、核兵器の使用を前提にした臨界前核実験を行ったことは、極めて遺憾です。

2015 年の NPT 再検討会議に向けて、あたらな気持ちで取り組みを進めていこうと、弊生協では、平和市長会議提唱の『核兵器禁止条約』の早期実現を求める 10 万人署名に取り組んでいる時期に今回の報道には、大きな憤りを感じずにはられません。

福島原発事故では、放射能の脅威が日本のみならず、世界各国に不安を陥れており、核と人類の共存は難しいという世論が、形成しつつあります。

オバマ大統領の、2009 年 4 月 5 日のプラハのフラチャニ広場で行った演説、2009 年 12 月のノーベル平和賞受賞は、核廃棄廃絶を願う私たちに大きな希望を与えました。大変すばらしく、私たちに勇気と希望を与えていただいた演説に反する臨界前核実験は、今後一切実施しないよう強く要請します。

今一度核兵器廃絶運動の先頭に立ってください。人類初の核兵器の犠牲になった被爆地ヒロシマに住む私たちは、一日も早く核兵器を廃絶し平和な社会を子どもたちに残すために、被爆の実相を訴え戦争のない世の中を世界の人々とともに作り上げていく決意です。戦争のない平和な世界を実現するために、すべての核実験を中止するとともに核兵器を速やかに完全廃棄するよう大統領閣下に強く求めます。

〒739-0495

広島県廿日市市大野原 1-2-10

電話 0829-50-0351

FAX 0829-50-0352